

K5G-C

K5G-C-100A

設定マニュアル



重要

「K5G-C-100A」をお買い上げいただきまして、誠にありがとうございます。
ご使用前やご利用中に、本書をお読みいただき、正しくお使い下さい。

取扱説明書について

最新の情報については、京セラのホームページ掲載の取扱説明書をご覧ください。

お知らせ

本書においては、「K5G-C-100A」を「本端末」と表記しています
本書は、お買い上げ時の内容を記載しています。
本書の内容やホームページのURLに関して、将来予告なしに変更することがあります。
本書に記載している画面およびイラストはイメージです。実際の製品とは異なる場合があります。
本書の内容の一部または全部を無断転載することは禁止されています。

目次

1	はじめに.....	4
2	各種機能の概要	5
2.1	外部機器との通信(Wi-Fi 接続).....	5
2.2	外部機器との通信(USB ケーブル接続).....	5
2.3	外部機器との通信(Bluetooth 接続).....	6
2.4	外部機器との通信(Ethernet 接続).....	6
2.5	機器単独での通信(アプリケーション).....	7
2.6	機器からの映像入出力	7
2.7	Dual SIM ができること	7
2.8	電源の ON/OFF について.....	8
3	各種設定方法.....	9
3.1	設定メニュー.....	9
3.2	モバイルネットワーク設定	9
3.2.1	アクセスポイント名	9
3.2.2	SIM カード設定	10
3.2.3	優先ネットワークの種類.....	10
3.2.4	モバイルデータ優先設定.....	11
3.3	明るさ設定、位置情報設定	11
3.4	証明書の追加方法.....	12
3.5	ルーター設定.....	12
3.5.1	アクセス方法.....	13
3.5.1.1	端末 UI.....	13
3.5.1.2	Web UI.....	13
3.5.2	Wi-Fi 設定	14
3.5.3	USB テザリング.....	18
3.5.4	Bluetooth テザリング.....	18
3.5.5	Ethernet 設定.....	19
3.5.6	自動再起動.....	21
3.5.7	その他の設定.....	21
3.5.7.1	ポートフォワーディング	21
3.5.7.2	IP パケットフィルタリング	22
3.5.7.3	IPv6 パケットフィルタリング	24

3.5.7.4	ステートフルファイアウォール.....	27
3.5.7.5	WAN ポート Ping ブロック	27
3.5.7.6	DMZ.....	27
3.5.8	パスワード設定	28
3.5.9	その他特記事項	29
3.6	VPN 設定.....	30
3.6.1	VPN の追加	30
3.6.2	VPN の接続	30
3.6.3	VPN の切断	31
3.6.4	L2TPv3	31
3.7	ソフトウェア更新設定	33
4	各種機器接続方法.....	34
4.1	USB 接続方法.....	34
4.1.1	USB ホストモード	34
4.1.2	USB デバイスモード.....	35
4.1.3	対応 OS.....	36
4.1.4	充電対応機能.....	36
4.1.5	USB テザリング.....	36
4.1.6	Ethernet 接続.....	37
4.2	Wi-Fi 接続方法.....	38
4.2.1	ルーター（テザリング）モード.....	38
4.2.2	クライアントモード	38
4.3	Bluetooth 接続方法.....	39
4.3.1	ルーター（テザリング）モード.....	39
4.3.2	Bluetooth アプリケーションモード	39
5	各種アプリ利用方法.....	40
5.1	5G 電波情報アプリ	40
5.1.1	電波情報表示.....	40
5.1.2	電波情報ログ出力.....	42
5.1.3	Wi-Fi 情報表示.....	46
5.1.4	Wi-Fi 情報ログ出力	46
5.2	UVC/UAC(エンコード/デコード)アプリ	47
5.2.1	USB カメラ	47
5.2.2	USB カメラプレイヤー	49

設定メニュー一覧.....52

1 はじめに

本書ではご利用環境や用途に合わせた設定を行えるよう、各種機能の概要と設定方法を説明します。

注意事項：

ローカル 5G ご利用のお客様へ

ビルド番号 1.042 より本端末の技適番号が変更となっています。免許申請される際はご利用になるビルド番号、技適番号にご注意ください。また、ソフトウェア更新される際は免許申請内容をご確認の上で実施してください。

※ 1.042 から対応している新機能について以下のラベルを記載しています。

1.042 から対応

2 各種機能の概要

本端末は、第5世代移動通信システム（5G）に対応しています。本端末は、Wi-Fi 機能または Bluetooth 機能により複数のパソコンなどと同時に接続できます。また、USB ケーブルや Ethernet 接続でパソコンなどと接続してデータの送受信ができます。

2.1 外部機器との通信(Wi-Fi 接続)

Wi-Fi 機能により本端末と複数のパソコンなどの Wi-Fi 対応機器を同時に接続し、データの送受信ができます。本端末は Wi-Fi 対応機器を同時に 20 台まで接続できます。

1. 本端末のルーター設定を「ON」に設定
2. Wi-Fi 対応機器から、本端末の SSID とパスワードを選択・入力する（スマートフォンなどのカメラ付き機器では、QR コードによるかんたん設定を利用できます）

※詳細は「[4.2 Wi-Fi 接続方法](#)」をご参照ください。

2.2 外部機器との通信(USB ケーブル接続)

USB ケーブルを使ってパソコンなどの USB 対応機器と接続し、データの送受信ができます。

1. パソコンと本端末の USB1 ポートに USB ケーブルで接続
2. 本端末ホーム画面から「設定」▶「ルーター設定」▶「USB テザリング」を ON

※詳細は「[4.1.5 USB テザリング](#)」をご参照ください。

2.3 外部機器との通信(Bluetooth 接続)

Bluetooth 機能により本端末と Bluetooth 対応機器（パソコンなど）を接続し、データの送受信ができます。本端末と Bluetooth 対応機器とのペアリングができ、本端末にアプリケーションをインストールすると、アプリから Bluetooth 機能を利用することができます。

※詳細は「[4.3 Bluetooth 接続方法](#)」をご参照ください。

2.4 外部機器との通信(Ethernet 接続)

USB-Ethernet 変換アダプタを使って、パソコンなどの機器と接続し、データの送受信ができます。

1. パソコンと本端末の USB1 ポート／USB2 ポートに USB-Ethernet 変換アダプタを接続

※詳細は「[4.1.6 Ethernet 接続](#)」をご参照ください。

2.5 機器単独での通信(アプリケーション)

本端末にアプリケーションをインストールすると、アプリケーションを使用して通信を行うことができます。

例) 本端末にプリインストールされている USB カメラアプリを利用する場合

1. カメラと本端末を USB ケーブルで接続
2. 本端末の USB カメラアプリを利用して、映像の送信を行う

※詳細は「[5.2.1 USB カメラ](#)」をご参照ください。

2.6 機器からの映像入出力

USB ケーブル対応機器と接続して、映像の入出力を行うことができます。カメラの映像を USB ケーブル接続で入力してクラウドに送信する、あるいは、クラウドから受信した映像をディスプレイやヘッドセットに出力することもできます（ディスプレイ接続には、別途 HDMI 変換アダプタもしくは Display Port 変換アダプタが必要です）。

例) 本端末にプリインストールされている USB カメラプレイヤーアプリを利用する場合

1. ディスプレイと本端末を USB ケーブル（HDMI 変換アダプタ／Display Port 変換アダプタ）で接続
2. 本端末の USB カメラプレイヤーアプリを利用して、映像の受信とディスプレイ出力を行う

※詳細は「[5.2.2 USB カメラプレイヤー](#)」をご参照ください。

2.7 Dual SIM でできること

本端末には SIM スロットが 2 つあり、公衆網とローカル 5G 網を使い分けることができます。

5G に対応した SIM カードを 2 枚同時に挿入した場合においても、モバイルデータ通信に使用する SIM として指定した SIM カードのみ 5G で利用可能です。モバイルデータに使用する SIM の指定は、手動あるいは自動で行えます。

※詳細は「[3.2 モバイルネットワーク設定](#)」をご参照ください。

2.8 電源の ON/OFF について

電源を ON にする際は、次の 2 通りの方法があります。

【電源ボタンでの電源 ON】

1. 画面が点灯するまで電源ボタンを長く押す

【外部給電による電源 ON】

1. USB1 ポートで充電を開始する

※電池が切れている状態でも、給電を開始すると電源 ON の状態となります。

電源を OFF にする際は、次の通り行ってください。

1. 電源ボタンを 1 秒以上長く押す。
2. 「電源を切る」を選択

3 各種設定方法

3.1 設定メニュー

巻末の「[設定メニュー一覧](#)」の表をご参照ください。

次項から、お客様の利用頻度が高いと思われる主な項目の設定方法を説明します。

3.2 モバイルネットワーク設定

SIM カードを取り付け、モバイルネットワークの設定を行うと、5G や 4G のネットワークがご利用いただけます。

1. 本体裏面の背面カバーを取り外し、SIM カードを取り付ける

※SIM カードはお客様ご自身でご用意ください。

※取り付け方法は操作マニュアルの「SIM カードを取り付ける」をご参照ください。

2. 電源を ON にする

※初期設定（ようこそ）画面が表示された場合は、操作マニュアルの「初期設定について」をご参照ください。

3. 20 秒ほど待ってから、ステータスアイコンに電波マークに「5G」 / 「5G+」 / 「4G」が表示されることを確認する

※ミリ波(mmW)での通信中は「5G+」マークが表示されます。

4. 表示されないときは、アクセスポイント名が正しいか設定を確認する

ご契約の SIM カードによってはアクセスポイント(APN)設定は不要で、デフォルトで設定されます。デフォルトでアクセスポイントが設定されていない場合は手動で入力します。

※詳細は「[3.2.1 アクセスポイント名](#)」をご参照ください。

3.2.1 アクセスポイント名

使用する SIM にアクセスポイント名を設定すると、データ通信の利用が可能となります。

端末ホーム画面から「設定」▶「モバイルネットワーク」▶「詳細設定」▶「アクセスポイント名」

右上の「+」から新規でアクセスポイントを設定できます。各項目の入力後「⋮」をタップして「保存」してください。保存後、一覧で選択してください。

※アクセスポイントの選択後、通信ができない場合は、端末を再起動してください。SIMのご契約内容によっては通信できない可能性がありますので、その場合はネットワーク事業者にご確認ください。

3.2.2 SIM カード設定

Dual SIM を利用する際に SIM カードの設定を行うと、データ通信に使用する SIM の切り替えができます。

端末ホーム画面から「設定」▶「SIM カード」

● 優先 SIM 設定

「モバイルデータ」を選択すると、データ通信に使用する SIM を「スロット 1」／「スロット 2」から手動で選択できます。

● モバイルデータ通信 SIM の自動切り替え

本設定を行うと優先 SIM が圏外となった場合、自動的に優先 SIM が切り替わります。

3.2.3 優先ネットワークの種類

優先ネットワークの種類を選択できます。

端末ホーム画面から「設定」▶「モバイルネットワーク」▶「優先ネットワークの種類」

「LTE」 — 4G Only モードとなります。

「NR のみ」 — 5G Only モードとなります。

「NR/LTE」 — 4G と 5G のモードとなります。（初期値）

※「NR のみ」にすると、NSA 構成の 5G には接続できなくなります。

3.2.4 モバイルデータ優先設定

1.042 から対応

Wi-Fi をクライアントモードに設定している場合に、Wi-Fi よりもモバイルデータ通信を優先してデータ通信を行うように設定することができます。

例えば、ローカル 5G SIM のときは Wi-Fi よりも 5G 優先にしたい、公衆 SIM のときは、Wi-Fi を優先したい、といったユースケースにご利用いただけます。

※クライアントモードの設定方法は「[4.2.2 クライアントモード](#)」をご参照ください。

端末ホーム画面から「設定」▶「モバイルネットワーク」▶「モバイルデータ優先設定」

「SIM 1」 — SIM スロット 1 の SIM によるモバイルデータ通信を Wi-Fi よりも優先します。

「SIM 2」 — SIM スロット 2 の SIM によるモバイルデータ通信を Wi-Fi よりも優先します。

※Ethernet を LAN として利用している場合は本設定によらずモバイルネットワークを優先します。

3.3 明るさ設定、位置情報設定

画面の明るさや位置情報の設定をすると、電池の持ちがよくなります。

画面の明るさ：

通知パネルを下にスライドすると、スライドバーで調整できます。

暗めに設定すると、電池の消費を抑えることができます。

位置情報：

端末ホーム画面から「設定」▶「詳細設定」▶「位置情報」

「位置情報の使用」を「OFF」にすると、電池の消費を抑えることができます。

3.4 証明書の追加方法

インストール済証明書：

プリインストール済の CA 証明書は、次の操作で確認できます。

端末ホーム画面から「設定」▶「詳細設定」▶「セキュリティ」▶「暗号化と認証情報」▶「信頼できる認証情報」

証明書のインストール方法：

証明書は、次の操作でインストールできます。

1. 端末ホーム画面から「設定」▶「詳細設定」▶「セキュリティ」▶「SD カードからインストール」

※USB ケーブル接続やブラウザからの証明書ダウンロードによって、内部ストレージに証明書を保存してから実施してください。

2. 証明書ファイルを選択

3. 必要に応じて「パスワード」／「証明書」の名前を入力し、「OK」

※「設定」▶「詳細設定」▶「セキュリティ」▶「画面ロック」と操作すると、予め PIN を設定していない場合は、設定を促すメッセージが表示されます。

3.5 ルーター設定

本端末にはルーター機能が搭載されています。

本端末の IP アドレスには、接続方法別に次の初期値が設定されています。

接続	本端末の IP アドレス	サブネットマスク
Wi-Fi	192.168.43.1	255.255.255.0
USB テザリング	192.168.42.129	255.255.255.0
Bluetooth テザリング	192.168.44.1	255.255.255.0
Ethernet	192.168.128.1	255.255.255.0

- Wi-Fi/Ethernet 接続を利用する場合は、本端末の IP アドレス/サブネットマスクを変更できます。
- 本端末に異なる接続方法で接続された機器間では、相互通信できません。

例) Wi-Fi 接続された機器と USB 接続された機器間では、相互通信できません。

- Bluetooth で複数の機器を接続した場合は、相互通信できません。
- USB/Bluetooth 接続の場合は、本端末の IP アドレス/サブネットマスクを変更できません。

3.5.1 アクセス方法

ルーター機能へのアクセス方法は、次の2つの方法があります。

アクセス方法	説明
端末 UI	本端末上の設定メニューからアクセスします。
Web UI	本端末と接続した外部端末上の Web ブラウザからアクセスします。

3.5.1.1 端末 UI

本端末上の設定メニューから、各種接続の設定やルーター設定を行うことができます。端末ホーム画面から「設定」▶「ルーター設定」を選択すると、アクセスできます。

● 設定項目

端末 UI では、次の項目を設定できます。

項目	説明
Wi-Fi	Wi-Fi テザリングに関する設定を行います。
USB テザリング	USB テザリングに関する設定を行います。
Bluetooth テザリング	Bluetooth テザリングに関する設定を行います。
Ethernet	Ethernet テザリングに関する設定を行います。
その他の設定	ルーター機能（ポートフォワーディング、パケットフィルタリング、WAN ポート Ping ブロック、DMZ）に関する設定を行います。

3.5.1.2 Web UI

本端末と接続した機器の Web ブラウザから、Web UI を利用してルーター設定を行うことができます。 ※Google Chrome の使用を推奨します。

● アクセス方法

Web ブラウザのアドレス入力欄に「http://[本端末の IP アドレス]:8080」と入力する

と、アクセスできます。

● ログインパスワード

Web UI へのログインには、ログインパスワードを入力する必要があります。

ログインパスワードの初期値は「admin」に設定されています。

初回ログイン時はパスワード変更画面が表示されます。パスワードを初期値から変更してください。初期値を変更せずにメニューを操作することはできません。

● 設定項目

Web UI では、次の項目を設定できます。

項目	説明
モバイルネットワーク	モバイルネットワークに関する設定を行います。
Wi-Fi 設定	Wi-Fi テザリングに関する設定を行います。
USB 設定	デフォルトの USB 設定に関する設定を行います。
Ethernet 設定	Ethernet 接続に関する設定を行います。
LAN 設定	ルーター機能（ポートフォワーディング、パケットフィルタリング、WAN ポート Ping ブロック、DMZ）に関する設定を行います。
端末設定	自動再起動、ログインパスワード、ソフトウェア更新などに関する設定を行います。

3.5.2 Wi-Fi 設定

Wi-Fi ルーターの設定を行うことができます。Wi-Fi ルーターの設定が OFF の時に設定変更ができます。

項目	説明
アクセスポイント名	Wi-Fi ルーターのアクセスポイント名を設定します。 ここで設定した名称が、本端末の Wi-Fi ルーターを利用する周囲のデバイス上に表示されます。 初期値は「K5G-C-100A」の名称が設定されています。
セキュリティ	Wi-Fi ルーターの通信で使用するセキュリティを設定します。 選択できるセキュリティは「WPA3-Personal」 / 「WPA2-Personal」 / 「なし」です。 初期値は「WPA2-Personal」に設定されています。

項目	説明
アクセスポイントのパスワード	Wi-Fi ルーターのパスワードを設定します。 本端末の Wi-Fi ルーターを利用するデバイスは、接続時にこのパスワードを入力する必要があります。セキュリティ「なし」の場合は、パスワードはありません。
アクセスポイントを自動的にオフする	Wi-Fi ルーターの自動オフ機能を設定します。 本端末の Wi-Fi ルーターに接続中のデバイスが 1 台も無い場合に、Wi-Fi ルーターを自動で「オフ」に切り替えます。 【ON】 予め設定した時間が経過すると、Wi-Fi ルーターを自動で「オフ」に切り替えます。設定時間は[高度な Wi-Fi テザリング設定] ▶ [自動オフ時間の設定]で設定できます。 【OFF】 自動オフ機能を解除します。 初期値は「OFF」に設定されています。
利用周波数設定	Wi-Fi ルーターの通信で使用する周波数帯を設定します。 選択できる周波数帯は「2.4GHz 帯」 / 「5GHz 帯」 / 「Both(2.4+5GHz)」です。 初期値は「2.4GHz 帯」に設定されています。
高度な Wi-Fi テザリング設定	Wi-Fi ルーターの詳細な設定を行うことができます。

「高度な Wi-Fi テザリング設定」では、より詳細な Wi-Fi ルーターの設定ができます。

項目	説明
接続デバイスの管理	本端末の Wi-Fi ルーターに接続できるデバイスを制限します。画面右上の「+」から接続させたいデバイスの MAC アドレスを登録し、接続できるデバイスを指定します。 ※MAC アドレスは大文字で入力してください。 接続制限を有効にする場合は「全てのデバイスを許可します」のチェックを外す必要があります。チェックが付いている場合は、MAC アドレスの登録をしていないデバイスからでも本端末の Wi-Fi ルーターへ接続できます。 初期値は「全てのデバイスを許可します」にチェックが付いています。
屋内/屋外モード	本端末の Wi-Fi ルーターを屋内のみで使用するか、屋外でも

項目	説明
	<p>使用するかを設定します。この設定により、使用できる 5GHz 帯の周波数チャンネルが変わります。</p> <p>5GHz 帯の一部の周波数チャンネルは法令により屋外での使用ができません。使用場所に合わせて正しく設定してください。</p> <p>初期値は「屋内と屋外で利用」に設定されています。</p>
2.4GHzチャンネル設定	<p>Wi-Fi ルーターの通信で使用する 2.4GHz 帯の周波数チャンネルを設定します。</p> <p>選択できる周波数チャンネルは「自動」／「1」～「11」です。</p> <p>初期値は「自動」に設定されています。</p> <p>「利用周波数設定」が「2.4GHz 帯」または「Both(2.4+5GHz)」に設定されている場合に有効です。</p>
5GHzチャンネル設定	<p>Wi-Fi ルーターの通信で使用する 5GHz 帯の周波数チャンネルを設定します。</p> <p>選択できる周波数チャンネルは「W52」／「W53」／「W56」です(屋内/屋外モードが「屋内と屋外で利用」に設定されている場合は「W56」しか選択できません)。</p> <p>初期値は「W56」に設定されています。</p> <p>「利用周波数設定」が「5GHz 帯」または「Both(2.4+5GHz)」に設定されている場合に有効です。</p>
DHCP 手動設定	<p>DHCP サーバー機能の動作を設定します。</p> <p>【ON】 Wi-Fi ルーターへ接続するデバイスに割り当てる IP アドレス等の値を手動で変更できます。値は「DHCP 手動設定」から設定できます。</p> <p>【OFF】 Wi-Fi ルーターへ接続するデバイスに割り当てる IP アドレスが自動的に設定されます。</p> <p>初期値は「OFF」が設定されています。</p>
ステルス設定	<p>本端末のアクセスポイント名を周囲のデバイスに表示するかどうかを設定します。</p> <p>【ON】 周囲のデバイス上に表示されません。周囲のデバイスからは本端末の Wi-Fi ルーターを明示的に指定することで接続できます。</p> <p>【OFF】 周囲のデバイス上に表示されます。</p>

項目	説明
	初期値は「OFF」に設定されています。
自動オフ時間の設定	<p>本端末の Wi-Fi ルーターに接続中のデバイスが 1 台も無い場合に、Wi-Fi ルーターを自動で「OFF」に切り替える時間を「なし」／「5分」／「10分」／「20分」／「30分」／「60分」から設定します。</p> <p>設定時間が経過すると、Wi-Fi ルーターが自動で「OFF」に切り替わります(「なし」の場合は切り替わりません)。</p> <p>初期値は「10分」に設定されています。</p> <p>「アクセスポイントを自動的にオフする」が「ON」に設定されている場合に有効です。</p>

「DHCP 手動設定」から次の DHCP サーバーの設定を手動設定できます。

項目	説明
ホスト IP アドレス	<p>本端末の Wi-Fi ルーターの IP アドレス(デフォルトゲートウェイ)を設定します。</p> <p>初期値は「192.168.1.1」と設定されています。</p>
プレフィックス長	<p>サブネットプレフィックス長を設定します。</p> <p>初期値は「24」と設定されています。</p>
開始 IP アドレス	<p>割り当てる IP アドレスの開始値を設定します。</p> <p>初期値は「192.168.1.2」と設定されています。</p> <p>本端末へ接続するデバイスには「開始 IP アドレス」から「終了 IP アドレス」の範囲の IP アドレスが割り当てられます。</p>
終了 IP アドレス	<p>本端末の Wi-Fi ルーターへ接続するデバイスに割り当てる IP アドレスの終了値を設定します。</p> <p>初期値は「192.168.1.254」と設定されています。</p>
DNS 設定	<p>本端末の Wi-Fi ルーターへ接続するデバイスに割り当てる DNS サーバーの IP アドレスを設定します。</p> <p>【ダイナミック】割り当てるアドレスを自動的に設定します。</p> <p>【スタティック】割り当てるアドレスを任意の値に設定できます。「DNS1」／「DNS2」を設定できます。</p> <p>初期値は「ダイナミック」に設定されています。</p>

項目	説明
DNS1	割り当てる DNS サーバーの IP アドレスを設定します。 初期値は無設定(空欄)になっています。
DNS2	割り当てる DNS サーバーの IP アドレスを設定します。 初期値は無設定(空欄)になっています。

【制限事項】

- 同時に接続できるのは 20 台までです。

3.5.3 USB テザリング

本端末の USB1 ポートにパソコンを USB ケーブルで接続すると、USB テザリングを行うことができます。

項目	説明
デフォルトの USB 設定	【ON】 USB 切断/再接続時に、USB テザリングを自動的に ON にします。 【OFF】 USB 切断/再接続時に USB テザリングは OFF になり、再度テザリングを ON にするには手動で操作する必要があります。

【制限事項】

- USB2 ポートを利用して USB テザリングを行うことはできません。

3.5.4 Bluetooth テザリング

本設定を有効にして PAN プロファイル対応の Bluetooth 機器と接続すると、Bluetooth テザリングを利用できます。

設定を解除するか、Bluetooth 接続を解除することで、Bluetooth テザリングは無効となります。

【制限事項】

- 同時に接続できるのは 4 台までです。

3.5.5 Ethernet 設定

● DHCP

Ethernet 接続機器へ割り当てる IP アドレスの範囲や、DNS サーバーアドレス設定等、DHCP 機能に関する設定を行うことができます。

項目	説明
DHCP サーバー	DHCP サーバー機能の動作を設定します。 【無効】DHCP サーバー機能を「OFF」にします。Ethernet 経由で接続する機器には、手動で IP アドレスを設定する必要があります。無効に設定する前に、必ず本端末のデフォルトゲートウェイの IP アドレスをメモしておいてください。 【有効】DHCP サーバー機能を「ON」にします。設定された範囲の IP アドレスを DHCP クライアント機器に自動で割り当てます。
LAN 側 IP アドレス	デフォルトゲートウェイの IP アドレスを設定します。 初期値は「192.168.128.1」に設定されています。 クラス A,B,C のプライベート IP アドレスを設定できます。 ループバックアドレスやブロードキャストアドレスを設定することはできません。 以下のアドレスは USB/Wi-Fi/Bluetooth テザリング用で確保しているため、設定することはできません。 「192.168.42.XXX」 「192.168.43.XXX」 「192.168.44.XXX」 「192.168.50.XXX」
LAN 側サブネットマスク	サブネットマスクを設定します。 初期値は「255.255.255.0」に設定されています。
割当 IP アドレス	機器に割り当てる IP アドレスの範囲を設定します。 初期値は「192.168.128.2 ~ 192.168.128.254」に設定されています。
プライマリ DNS	機器に割り当てるプライマリ DNS のアドレスを設定します。 初期値は「192.168.128.1」にとされています。
セカンダリ DNS	機器に割り当てるセカンダリ DNS のアドレスを設定します。

初期値は無設定(空欄)になっています。

【制限事項】

- 本設定は、Ethernet 接続機器にのみ有効です。
- LAN 側 IP アドレスについては、Ethernet 接続以外で使用している IP アドレスとの重複にご注意ください。LAN 側 IP アドレスを重複設定した場合に、Ethernet 接続と Ethernet 以外の接続が同時に行われると、先に有効になった接続のみが正常動作（先勝ち）となります。

● MAC IP binding リスト

特定の MAC アドレスを持つ機器に対し、任意の IP アドレスを固定的に割り当てることができます。次の項目を入力後に「OK」を選択すると、本端末にバインディングルールを設定できます。

本端末に設定されているバインディング情報は、リストから確認できます。各設定情報の「編集」／「削除」を選択すると、設定済みの情報を変更／削除できます。

項目	説明
MAC	固定 IP アドレスの割当て対象機器の MAC アドレスを入力します。 MAC アドレス入力例：「AA:BB:CC:DD:EE:FF」
IP	機器に割り当てる IP アドレスを入力します。 DHCP の割当 IP アドレス項目に入力した範囲内の IP アドレスを入力してください。

【制限事項】

- MAC アドレス／IP アドレスは、重複設定できません。
- バインディング情報は最大 128 個まで設定できます。

【注意事項】

- USB - Ethernet 変換アダプタの接続中に DHCP 機能や MAC IP binding に関する設定を変更した場合は、USB - Ethernet 変換アダプタを一度抜き差ししてください。

3.5.6 自動再起動

定期的に自動で端末を再起動させる機能です。

項目	説明
自動再起動設定	自動再起動設定を使用する/しない を設定します。
データ通信中は再起動しない	【ON】 指定の時刻になった時点で端末が通信中だった場合、通信が終了してから再起動を行います。 【OFF】 指定の時刻になったら、データ通信中でも再起動します。
時刻指定	再起動を行う時刻を指定します。
日付間隔/曜日指定	再起動を行う間隔を指定します。1~30 日の日付を指定するか、特定の曜日を指定することができます。

【制限事項】

スリープ中などの端末の状態によっては、指定した時刻と実際に再起動が実行される時刻に数分間の差が発生する場合があります。

3.5.7 その他の設定

ルーター機能（ポートフォワーディング、パケットフィルタリング、WAN ポート Ping ブロック、DMZ）に関する設定を行います。

3.5.7.1 ポートフォワーディング

本機能を使用すると、WAN 側から特定のポート番号宛に届いたパケットを LAN 側の特定の IP アドレス：ポート番号に転送できます。

● 設定項目

次の項目を入力後に「OK」を選択すると、ポートフォワーディングルールを本端末に設定できます。

項目	説明
プロトコル	ルールを適用するプロトコルを選択します。 【ALL(TCP,UDP)】 TCP/UDP に対してルールを適用します。 【TCP】 TCP に対してルールを適用します。

項目	説明
	【UDP】 UDP に対してルールを適用します。
外部ポート番号	ルールを適用する WAN 側のポート番号を設定します。
LAN 側 IP アドレス	ルールを適用する LAN 側(転送先)の IP アドレスを設定します。
内部ポート番号	ルールを適用する LAN 側(転送先)のポート番号を設定します。

【制限事項】

- 重複するルールが設定された場合は、先に設定したルールが適用されます。
- ICMP パケットにはルールを適用できません。

● ポートフォワーディングリスト

本端末に設定されているポートフォワーディングルールを確認できます。各ルールの「編集」／「削除」を選択すると、ルールを変更／削除できます。

【制限事項】

- 変更したルールは新規に追加されたルールとして処理されます。
- ルールは最大 128 個まで設定できます。

3.5.7.2 IP パケットフィルタリング

WAN - LAN 間で IP パケットを転送する際に、特定の条件に該当する IP パケットをフィルタリングすることができます。

● 設定項目

次の項目を入力後に「OK」を選択すると、本端末に IP パケットフィルタリングルールを設定できます。

項目	説明
動作	<p>ルールに適合した IP パケットの処理内容を選択します。</p> <p>【DROP】 対象 IP パケットの通過を許可せず、相手に通知せずに破棄します。</p> <p>【REJECT】 対象 IP パケットの通過を許可せず、相手に拒否通知します。</p> <p>【ACCEPT】 対象 IP パケットの通過を許可します。</p>
方向	<p>どちらの方向のパケットに対してルールを適用するかを選択します。どちらを選択しても同一のルールが適用されます。</p>

項目	説明
	<p>本項目の設定値に関わらず、送信元 IP アドレス及び宛先 IP アドレス、送信元ポート番号、宛先ポート番号、プロトコルがルール適用の判定基準になります。</p>
送信元 IP アドレス	<p>ルールを適用する送信元 IP アドレスを入力します。</p> <p>開始 IP アドレス／終了 IP アドレスを入力することで、範囲指定できます。</p> <p>開始 IP アドレスを入力して終了 IP アドレスを空欄(未入力)にすると、任意のアドレス(開始 IP アドレス)だけを指定できます。</p> <p>開始 IP アドレス／終了 IP アドレスを空欄(未入力)にすると、全ての IP アドレスを指定できます。</p> <p>開始 IP アドレスを空欄(未入力)にして、終了 IP アドレスだけを入力しても、設定できません。</p>
宛先 IP アドレス	<p>ルールを適用する宛先 IP アドレスを入力します。</p> <p>開始 IP アドレス／終了 IP アドレスを入力することで、範囲指定できます。</p> <p>開始 IP アドレスを入力して終了 IP アドレスを空欄(未入力)にすると、任意のアドレス(開始 IP アドレス)だけを指定できます。</p> <p>開始 IP アドレス／終了 IP アドレスを空欄(未入力)にすると、全ての IP アドレスを指定できます。</p> <p>開始 IP アドレスを空欄(未入力)にして終了 IP アドレスだけを入力しても、設定できません。</p>
プロトコル	<p>ルールを適用するプロトコルを選択します。</p> <p>【ALL(TCP,UDP)】 TCP 及び UDP に対してルールを適用します。</p> <p>【TCP】 TCP に対してルールを適用します。</p> <p>【UDP】 UDP に対してルールを適用します。</p>
送信元ポート番号	<p>ルールを適用する送信元ポート番号を入力します。</p> <p>開始ポート番号及び終了ポート番号を入力することで、範囲指定できます。</p> <p>開始ポート番号を入力して終了ポート番号を空欄(未入力)にすると、任意のポート番号(開始ポート番号)だけを指定できます。</p> <p>開始ポート番号／終了ポート番号を空欄(未入力)にすると、全てのポート番号を指定できます。</p>

項目	説明
	開始ポート番号を空欄(未入力)にして終了ポート番号だけを入力しても、設定できません。
宛先ポート番号	<p>ルールを適用する宛先ポート番号を入力します。</p> <p>開始ポート番号／終了ポート番号を入力することで、範囲指定できます。</p> <p>開始ポート番号を入力して終了ポート番号を空欄(未入力)にすると、任意のポート番号(開始ポート番号)だけを指定できます。</p> <p>開始ポート番号／終了ポート番号を空欄(未入力)にすると、全てのポート番号を指定できます。</p> <p>開始ポート番号を空欄(未入力)にして終了ポート番号だけを入力しても、設定できません。</p>

【制限事項】

- 本機能は WAN - LAN 間で転送が発生しない IP パケット(本端末を最終的な宛先とした受信パケットや、本端末上のアプリからの送信パケット等)には適用できません。
- ICMP パケットにはルールを適用できません。
- スタティックパケットフィルタリングのため、明示的に双方向のフィルタリングルールを設定する必要があります。
- 重複するルールが設定された場合は、先に設定したルールが適用されます。
- ステートフルファイアウォールと同時に使用することはできません。

● IP パケットフィルタリングリスト

本端末に設定されている IP パケットフィルタリングルールを確認できます。各ルールの「編集」／「削除」を選択すると、ルールを変更／削除できます。

【制限事項】

- 変更したルールは新規に追加されたルールとして処理されます。
- ルールは最大 128 個まで設定できます。

3.5.7.3 IPv6 パケットフィルタリング

WAN - LAN 間で IPv6 パケットを転送する際に、特定の条件に該当する IPv6 パケットをフィルタリングすることができます。

● 設定項目

次の項目を入力後に「OK」を選択すると、本端末に IPv6 パケットフィルタリングルールを設定できます。

項目	説明
動作	<p>ルールに適合した IPv6 パケットの処理内容を選択します。</p> <p>【DROP】対象 IPv6 パケットの通過を許可せず、相手に通知せずに破棄します。</p> <p>【REJECT】対象 IPv6 パケットの通過を許可せず、相手に拒否通知します。</p> <p>【ACCEPT】対象 IPv6 パケットの通過を許可します。</p>
方向	<p>どちらの方向のパケットに対してルールを適用するかを選択します。どちらを選択しても同一のルールが適用されます。</p> <p>本項目の設定値に関わらず、送信元 IPv6 アドレス／宛先 IPv6 アドレス、送信元ポート番号／宛先ポート番号／プロトコルのみがルール適用の判定基準になります。</p>
送信元 IP アドレス	<p>ルールを適用する送信元 IPv6 アドレスを入力します。</p> <p>開始 IPv6 アドレス／終了 IPv6 アドレスを入力することで、範囲指定できます。</p> <p>開始 IPv6 アドレスを入力して終了 IPv6 アドレスを空欄(未入力)にすると、任意のアドレス(開始 IPv6 アドレス)だけを指定できます。</p> <p>開始 IPv6 アドレス／終了 IPv6 アドレスを空欄(未入力)にすると、全ての IPv6 アドレスを指定できます。</p> <p>開始 IPv6 アドレスを空欄(未入力)にして終了 IPv6 アドレスだけを入力しても、設定できません。</p>
宛先 IP アドレス	<p>ルールを適用する宛先 IPv6 アドレスを入力します。</p> <p>開始 IPv6 アドレス及び終了 IPv6 アドレスを入力することで、範囲指定できます。</p> <p>開始 IPv6 アドレスを入力して終了 IPv6 アドレスを空欄(未入力)にすると、任意のアドレス(開始 IPv6 アドレス)だけを指定できます。</p> <p>開始 IPv6 アドレス／終了 IPv6 アドレスを空欄(未入力)にすると、全ての IPv6 アドレスを指定できます。</p>

項目	説明
	開始 IPv6 アドレスを空欄(未入力)にして、終了 IPv6 アドレスだけを入力しても、設定できません。
プロトコル	ルールを適用するプロトコルを選択します。 【ALL(TCP,UDP)】 TCP 及び UDP に対してルールを適用します。 【TCP】 TCP に対してルールを適用します。 【UDP】 UDP に対してルールを適用します。
送信元ポート番号	ルールを適用する送信元ポート番号を入力します。 開始ポート番号／終了ポート番号を入力することで、範囲指定できます。 開始ポート番号を入力して終了ポート番号を空欄(未入力)にすると、任意のポート番号(開始ポート番号)だけを指定できます。 開始ポート番号／終了ポート番号を空欄(未入力)にすると、全てのポート番号を指定できます。 開始ポート番号を空欄(未入力)にして終了ポート番号だけを入力しても、設定できません。
宛先ポート番号	ルールを適用する宛先ポート番号を入力します。 開始ポート番号／終了ポート番号を入力することで、範囲指定できます。 開始ポート番号を入力して終了ポート番号を空欄(未入力)にすると、任意のポート番号(開始ポート番号)だけを指定できます。 開始ポート番号／終了ポート番号を空欄(未入力)にすると、全てのポート番号を指定できます。 開始ポート番号を空欄(未入力)にして終了ポート番号だけを入力しても、設定できません。

【制限事項】

- 本機能は WAN - LAN 間で転送が発生しない IPv6 パケット(本端末自身を最終的な宛先とした受信パケットや、本端末上のアプリ等からの送信パケット等)には適用できません。
- ICMPv6 パケットにはルールを適用できません。
- スタティックパケットフィルタリングのため、明示的に双方向のフィルタリングルールを設定する必要があります。
- 重複するルールが設定された場合は、先に設定したルールが適用されます。

- ステートフルファイアウォールと同時に使用することはできません。

● IPv6 パケットフィルタリングリスト

本端末に設定されている IPv6 パケットフィルタリングルールを確認できます。各ルールの「編集」／「削除」を選択すると、ルールを変更／削除できます。

【制限事項】

- 変更したルールは新規に追加されたルールとして処理されます。
- ルールは最大 128 個まで設定できます。

3.5.7.4 ステートフルファイアウォール

1.050 から対応

WAN-LAN 間で IP/IPv6 パケットを転送する際に、コネクショントラッキング機能を利用して、TCP・UDP セッションに基づく正当シーケンスに紐づかない不正なパケットをフィルタリングする事ができます。

【制限事項】

- IP パケットフィルタリング、IPv6 パケットフィルタリングと同時に使用することはできません。

3.5.7.5 WAN ポート Ping ブロック

WAN 側からの Ping パケットをブロックできます。本機能を有効にしている場合でも、本端末や LAN 側機器からの Ping は利用できます。

【制限事項】

- WAN 側がモバイル接続以外の場合は適用されません。

3.5.7.6 DMZ

DMZ 機能を利用すると、LAN 側に接続された特定の機器に WAN 側からアクセスできます。

● 設定項目

次の項目を入力して設定を有効にすると、DMZ 機能を利用できます。

DMZ のサーバーに指定された接続機器は WAN 側からアクセス可能となるため機器のセキュリティには十分にご注意ください。

項目	説明
IP アドレス	DMZ のサーバーとする LAN 側接続機器の IP アドレスを入力します。

【制限事項】

- 本機能は LAN 側に接続されている特定機器を仮想的に DMZ に配置されているようにみならず機能であり、本来の DMZ の目的であるネットワーク上の隔離を行うことはできません。

3.5.8 パスワード設定

Web UI にログインする際のパスワードを設定できます。

● 設定項目

次の項目を入力後に「適用」を選択すると、新しいパスワードが設定されます。

項目	説明
現在のパスワード	現在設定されているログインパスワードを入力します。 初期ログイン時は初期値「admin」を入力します。
新しいパスワード	新しく設定するパスワードを入力します。 設定するパスワードは以下の条件を満たす必要があります。 <ul style="list-style-type: none">・ パスワードの長さ：8 文字～32 文字・ 使用可能文字種別：半角英数字及び記号 ([!][#][*][@][&][.])・ 設定条件：英大文字／英小文字／数字／記号を各 1 文字以上含む
パスワードの確認	確認のためのパスワードを入力します。 「新しいパスワード」で入力したものと同一文字を入力する必要があります。

3.5.9 その他特記事項

- ルーター機能の同時利用について

一部機能を除き、各種ルーター機能は同時に使用する事ができますが、その場合は次の優先関係にご注意ください。

優先順位	機能
1	パケットフィルタリング
2	ポートフォワーディング
3	DMZ 1.050 から対応
4	ステートフルファイアウォール

【制限事項】

- パケットフィルタリングとステートフルファイアウォールは同時に使用することはできません。

- ルーター機能使用時の WAN 側接続について

各種ルーター機能については WAN 側がモバイル(4G/5G)接続の状態を使用することを推奨しています。Wi-Fi 接続等、WAN 側がモバイル接続以外の状態での使用については非推奨となります。

3.6 VPN 設定

仮想プライベートネットワーク (VPN:Virtual Private Network) は、保護されたローカルネットワーク内の情報に、別のネットワークから接続する技術です。VPN は一般に、企業や学校、その他の施設に備えられており、ユーザーは構内にいなくてもローカルネットワーク内の情報にアクセスできます。

本製品から VPN アクセスを設定するには、ネットワーク管理者からセキュリティに関する情報を得る必要があります。


- 本製品は以下の種類の VPN に対応しています。
 - PPTP
 - L2TP/IPSec PSK
 - L2TP/IPSec RSA
 - IPSec Xauth PSK
 - IPSec Xauth RSA
 - IPSec Hybrid RSA
 - L2TPv3 Only (IPSec なし／トンネル認証なし)

3.6.1 VPN の追加

1. 「設定」▶「詳細設定」▶「ネットワークとインターネット」▶「詳細設定」▶「VPN」
VPN 画面が表示されます。
2. 「+」
初回起動時など、セキュリティの設定が必要な場合は画面の指示に従って設定してください。
3. VPN 設定の各項目を設定 ▶「保存」
VPN 画面のリストに、新しい VPN が追加されます。

3.6.2 VPN の接続

1. 「設定」▶「詳細設定」▶「ネットワークとインターネット」▶「詳細設定」▶「VPN」
VPN 画面に、追加した VPN がリスト表示されます。
2. 接続する VPN を選択
3. 必要な認証情報を入力 ▶「接続」

VPN に接続すると、ステータスバーに「」が表示されます。

3.6.3 VPN の切断

1. 「設定」▶「詳細設定」▶「ネットワークとインターネット」▶「詳細設定」▶「VPN」
VPN 画面が表示されます。
2. 接続中の VPN を選択 ▶「切断」

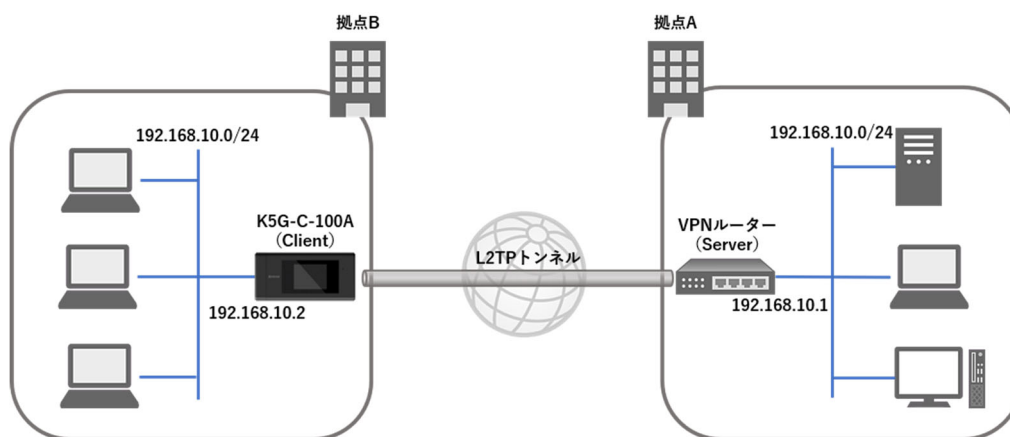
3.6.4 L2TPv3 1.081 から対応

L2TPv3 (IPSec なし／トンネル認証なし) 接続を利用することで物理的に離れた拠点のネットワークを仮想的な同一ネットワークとして構成することができます。

- 設定例

下図構成を構築する場合の K5G-C-100A 側の設定例です。

設定項目	設定値
名前	任意文字列
タイプ	L2TPv3 Only
サーバーアドレス	VPN ルーター (Server) の IP アドレス
Server ID	192.168.10.1
Client ID	192.168.10.2



【制限事項】

- L2TPv3 (IPSec なし/トンネル認証なし) のみの対応となるため L2TPv3 接続時は IPSec やトンネル認証を利用することはできません。
- クライアント接続のみの対応となるため利用時は VPN ルーター (サーバー) が別途必要になります。
- L2TP トンネルの複数同時接続には対応していません。
- L2TPv3 接続時に Bluetooth を LAN 側として使用することはできません。
- L2TPv3 接続と通常のルーター接続を同時に使用することはできません。
- L2TPv3 接続時は L2TPv3 接続完了後に LAN 側機器の接続を行うか、L2TPv3 接続完了後に USB ケーブル/USB-Ethernet アダプタ/WiFi AP モードを抜き差し或いは OFF/ON して下さい。
- L2TPv3 切断時は LAN 側機器を外した後で L2TPv3 切断を行うか、L2TPv3 切断完了後に USB ケーブル/USB-Ethernet アダプタ/WiFi AP モードを抜き差し或いは OFF/ON して下さい。
- VPN 接続時は各種ルーター機能 (ポートフォワーディング、IP/IPv6 フィルタリング、ステートフルファイアウォール、WAN ポート Ping ブロック、DMZ) を使用することはできません。

3.7 ソフトウェア更新設定

本端末は最新ソフトウェアにアップデートするソフトウェア更新機能を搭載しています。

端末ホーム画面から「設定」▶「詳細設定」▶「システム」▶「ソフトウェア更新」

項目	説明
更新確認	最新ソフトウェアの有無を確認します。
更新の有無を通知	最新ソフトウェアがある場合に、通知表示を行います。 初期値は「ON」に設定されています。
自動でダウンロード	「更新の有無を通知」が「ON」の場合に、自動で本端末に最新ソフトウェアをダウンロードします。 初期値は「OFF」に設定されています。
自動更新開始時間帯を設定	「自動でダウンロード」が「ON」の場合かつ、最新ソフトウェアがある場合に、指定時刻になると自動で更新を行います。

- 最新ソフトウェアへのアップデートを自動で行いたい場合は、「自動でダウンロード」を「ON」に設定してください。
- 最新ソフトウェアへのアップデートを Wi-Fi で行いたい場合は、Wi-Fi をクライアントモードに設定してください。設定方法は「[4.2.2 クライアントモード](#)」をご参照ください。
- 本端末では、閉域ネットワークのみで利用されるお客様向けに、オフラインでのソフトウェア更新機能を搭載しています。詳細は「メンテナンスマニュアル」（別途ご提供予定）をご参照ください。

4 各種機器接続方法

4.1 USB 接続方法

4.1.1 USB ホストモード

USB ホストモードの各機能の説明です。

機能	USB1	USB2	機能説明と接続方法
OTG	×	×	非対応
HID	○	○	マウス、キーボードなどで端末を操作 対応機器を接続すると利用可能
MassStorage	○	○	外部ストレージとしてファイル送受信 設定-詳細設定-ストレージに表示される
Hub	○	○	USB Hub 機能 対応機器を接続すると利用可能
CDC-NCM	○	○	USB Ethernet 変換の接続 対応機器を接続すると利用可能（「 4.1.6 Ethernet 接続 」参照）
UAC	○	○	イヤホン、ヘッドセットなど音声入出力 対応機器を接続すると利用可能 (音声再生アプリが別途必要)
UVC	○	○	カメラで静止画・動画撮影 対応機器を接続すると利用可能 (プリインストールされている USB カメラアプリが利用可能)

4.1.2 USB デバイスモード

USB デバイスモードの各機能の説明です。

機能	USB1	USB2	機能説明と接続方法
MTP	○	×	ファイル送受信 パソコンと本端末を USB で接続 端末ホーム画面で、画面上部を下にスライドして通知パネルを表示し、「このデバイスを USB で充電中」を選択 「タップしてその他のオプションを表示します。」を選択 「ファイル転送」を選択
RNDIS	○	×	USB テザリング パソコンと本端末を USB で接続（「 4.1.5 USB テザリング 」参照）
PTP	○	×	写真送受信 パソコンと本端末を USB で接続 端末ホーム画面で、画面上部を下にスライドして通知パネルを表示し、「このデバイスを USB で充電中」を選択 「タップしてその他のオプションを表示します。」を選択 「PTP」を選択
ADB	○	×	端末操作、ログ取得など 利用時には Android SDK が必要です。詳細は Android Developer サイトを参照してください。
Android Open Accessory	○	×	AOA 対応機器の接続 接続すれば利用可能

4.1.3 対応 OS

OS	USB1	USB2
Windows7 以前	×	×
Windows8.1 (32bit/64bit)	○	×
Windows10 (32bit/64bit)	○	×
Mac OS	×	×
Linux	×	×

4.1.4 充電対応機能

機能	USB1	USB2
Battery Charging1.2	○	×
Power Delivery(PD)2.0/3.0	△ PD3.0 は一部の 機能だけ対応	×
Quick Charge2.0/3.0/4.0	×	×

4.1.5 USB テザリング

本端末の USB1 ポートにパソコンを USB ケーブルで接続すると、USB テザリングを行うことができます。

1. 端末ホーム画面から「設定」▶「ルーター設定」▶「デフォルトの USB 設定（USB 接続時に USB テザリングを設定する）」を「ON」に設定

※本設定を行うことで、USB ケーブル接続時に自動的に USB テザリングを ON にすることができます。

2. ディスプレイ側を上面に向けて、上段側の USB1 ポートにパソコンを接続
3. パソコンから、ネットワークの設定を行う

一時的に USB テザリングを行いたい場合は、以下の手順で接続してください。

1. 端末ホーム画面から「設定」▶「ルーター設定」▶「デフォルトの USB 設定（USB 接続時に USB テザリングを設定する）」を「OFF」に設定
2. ディスプレイ側を上面に向けて、上段側の USB1 ポートにパソコンを接続
3. 端末ホーム画面から「設定」▶「ルーター設定」▶「USB テザリング」を選択
4. 「USB テザリング」を「ON」に設定
5. パソコンから、ネットワークの設定を行う

※設定を解除するか、USB ケーブルを抜くことで、USB テザリングは無効となります。
USB ケーブルを抜いた後、再度 USB テザリングをご利用になる場合は、もう一度「USB テザリング」を「ON」に設定してください。

【制限事項】

- USB2 ポートを利用して USB テザリングを行うことはできません。

4.1.6 Ethernet 接続

USB ポートに USB - Ethernet 変換アダプタを接続すると、LAN ケーブルを使用してパソコン等の機器と接続できます。また、USB - Ethernet 変換アダプタに LAN ケーブルを使用して Ethernet ハブを接続することで、複数台の機器を接続できます。

1. 本端末の USB ポートに USB - Ethernet 変換アダプタを接続
2. パソコン等の機器を LAN ケーブルで変換アダプタに接続

【制限事項】

- USB-Ethernet 変換アダプタの複数同時使用はサポートしていません。
- USB テザリングに比べ、往復レイテンシ（RTT）が増加します。TCP で映像伝送やファイル転送などを行う際、アプリケーションによってはスループット低下や転送遅延が発生する場合があります。

4.2 Wi-Fi 接続方法

4.2.1 ルーター（テザリング）モード

本端末を Wi-Fi アクセスポイントとして、さまざまな Wi-Fi 対応機器から本端末に接続することで、データ通信ができます。

1. 端末ホーム画面から「設定」▶「ルーター設定」▶「Wi-Fi」を選択
 2. 本端末のルーター設定の Wi-Fi を「ON」に設定
 3. Wi-Fi 対応機器から、本端末の SSID とパスワードを選択／入力する（スマートフォンなどのカメラ付き機器では、QR コードによるかんたん設定を利用できます）
- 「利用周波数設定」を行うと、5GHz 帯を利用できます。
 1. 端末ホーム画面から「設定」▶「ルーター設定」▶「Wi-Fi」▶「利用周波数設定」を選択
 2. 利用周波数設定を変更する
 - 「高度な Wi-Fi テザリング設定」を利用できます。
 1. 端末ホーム画面から「設定」▶「ルーター設定」▶「Wi-Fi」▶「高度な Wi-Fi テザリング設定」を選択

※詳細は「[3.5.2 Wi-Fi 設定](#)」をご参照ください。

※法令により、屋外では 5.2GHz／5.3GHz 帯の Wi-Fi 使用を禁止されています。

4.2.2 クライアントモード

本端末をクライアント機器として、別の Wi-Fi アクセスポイントに接続できます。

1. 端末ホーム画面から「設定」▶「詳細設定」▶「ネットワークとインターネット」を選択
2. 「Wi-Fi クライアント接続設定の表示」を「ON」に設定
3. 「Wi-Fi 接続設定」を「ON」に設定
4. 「Wi-Fi 接続設定」の文字部分をタップして、Wi-Fi アクセスポイントを選択

4.3 Bluetooth 接続方法

4.3.1 ルーター（テザリング）モード

本端末を Bluetooth テザリング機として、Bluetooth 対応機器から本端末に接続することで、データ通信ができます。

1. 端末ホーム画面から「設定」▶「Bluetooth」を選択して「ON」に設定
2. 「新しいデバイスとペア設定する」を選択
3. 接続機器から、本端末のデバイス名「K5G-C-100A（初期値）」とペア設定する
4. 端末ホーム画面から「設定」▶「ルーター設定」▶「Bluetooth テザリング」を選択して、「ON」に設定

4.3.2 Bluetooth アプリケーションモード

アプリケーションをお客様にてご用意いただき本端末にインストールすると、アプリケーションから Bluetooth 機能を利用できます。Bluetooth 機器との通信は事前にペアリングをする方法と、ペアリング不要のビーコンなどのデータ受信があります。

ペアリングの方法は以下の通りです。

1. 端末ホーム画面から「設定」▶「Bluetooth」を選択して「ON」に設定
2. 「新しいデバイスとペア設定する」を選択
3. 接続機器から、本端末のデバイス名「K5G-C-100A（初期値）」とペア設定する

5 各種アプリ利用方法

5.1 5G 電波情報アプリ

5.1.1 電波情報表示

本端末が受信している電波に関連する情報を、SIM スロット 1/SIM スロット 2 の SIM に関連する情報として表示します。

※5G の情報では次の項目は表示されません。

- CSI RSRP - CSI RSRQ - CSI SINR

※NSA(Non-Stand-Alone)の場合は 4G で待ち受け制御するため、5G 環境でも待ち受け中は情報表示されません。データ通信を行うと 5G で情報表示されます。

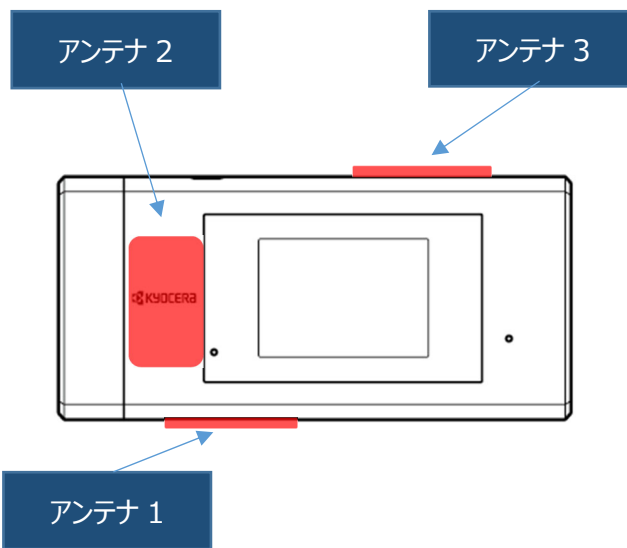
※NSA の場合には、5G の情報で Band, MCC, MNC, TAC, Up bandwidth, Down Bandwidth は表示されません。Band が表示される場合がありますが、正確ではない情報となるためご注意ください。

※5G の SignalStrength については 5G 通信前の電波が見えた状態だけでも表示されることがあります。

※4G の情報で RSSNR については情報表示されません。

※ミリ波 受信アンテナのアンテナ番号 (BeamID) は、下記の図に位置を示したアンテナ番号に対応しています。

※トンネル内を移動している場合など、位置情報が取得できない状態にある場合には、高度情報には直前に測位に成功した際の値が継続して表示されることがあります。



通信	情報表示	値 (例)	単位
5G	NSA or SA		
	Cell情報		
	Band	NR Band 257	
	MCC	440	
	MNC	10	
	PCI	388	
	TAC	4647	
	Nrarfcn	2073327	
	UpBandwidth	15000	MHz
	DownBandwidth	15000	MHz
	UL CA	1	1.042 から対応
	UL MCS	15	1.042 から対応
	UL MIMO	SISO	1.042 から対応
	UL Modulation	16_QAM	1.042 から対応
	DL CA	1	1.042 から対応
	DL MCS	12	1.042 から対応
	DL MIMO	SISO	1.042 から対応
	DL Modulation	16_QAM	1.042 から対応
SignalStrength			
CSI RSRP	-100	dBm	
CSI RSRQ	-11	dB	

通信	情報表示	値 (例)	単位
	CSI SINR	9	dB
	SS RSRP	-110	dBm
	SS RSRQ	-11	dB
	SS SINR	20	dB
	高度情報		
	Alt	121.430567	
	ミリ波 受信アンテナ		
	BeamID 1:	利用しているアンテナ番号を表示	
	BeamID 2:	利用しているアンテナ番号を表示	
4G			
	Cell情報		
	Band	LTE Band 1	
	MCC	440	
	MNC	10	
	PCI	388	
	TAC	4647	
	Bandwidth	15000	kHz
	Earfcn	276	
	SignalStrength		
	RSRP	-100	dBm
	RSRQ	-11	dB
	RSSNR	90	dB

※グレー部分については表示されません。

5.1.2 電波情報ログ出力

本端末が受信している電波の情報を CSV 形式のログに、最大 7 日間まで保存できます。

● ログ記録期間の設定方法は次の通りです。

1. 「日」を選択して、「日」 / 「時間」を設定

2. 「000」を選択して、記録したい日数／時間を入力

※ログ記録期間は最大7日間です。1～7日／1～168時間を設定できます。

※指定された期間に従って、画面上にログの取得完了予定日時が表示されます。

● ログ記録の開始方法は次の通りです。

「START」ボタンを押す。

● ログ記録の停止方法は次の通りです。

指定された期間に停止する（自動的に記録が終了）、あるいは「STOP」ボタンを押す。

● ログの取り出し方法は次の通りです。

1. 本端末と PC を USB ケーブルで接続する

2. 本端末を USB の MTP モードに設定する（「4.1.2 USB デバイスモード」をご参照ください）

3. PC から以下のフォルダにアクセスしてファイルを取得する

保存場所： /storage/emulated/0/Android/data/jp.kyocera.signalinfo/files/配下

ファイル名：『IMEI』_Slot『1/2』_『YYYYMMDDhhmmssfff』.csv

※「YYYYMMDDhhmmssfff」は、ログ取得開始時間のミリ秒までのタイムスタンプです。

例) 355956110000258_Slot1_20210304135030123.csv

● ログに記録される情報は次の通りです。

※電波情報は、1秒周期で記録されます。 **1.050 から対応**

(1.050 より前のバージョンでは3秒周期で記録されます)

※5Gの情報で次の項目は保存されません。

- CSI RSRP - CSI RSRQ - CSI SINR

※NSA (Non-Stand-Alone) の場合は4Gで待ち受け制御するため、5G環境でも待ち受け中は情報表示されません。データ通信を行うと5Gで情報表示されます。

※4G/5GのSignalStrengthについては画面OFF中かつ未充電(USB未接続)の場合は更新されません。

※4Gの情報でSINRについては情報表示されません。

※Cellを移動した直後などCell情報が揃っていないタイミングでは正しいMCC,MNC,CID,Bandwidthが記録されないことがあります。

※トンネル内を移動している場合など、位置情報が取得できない状態にある場合には、緯度、経度、高度は記録されないことがあります。

※端末通信状況(NetworkState)についてはサポートしておりません。情報が記録されない場合や記録された情報が正しくない場合があります。

項目名	CSV項目名	
基地局関連		
日付	Date	
時間	Time	
セルへの接続状態	CellConnectionStatus	
MCC	MCC	
MNC	MNC	
端末関連（4G／5G共通項目）		
緯度	Latitude	
経度	Longitude	
高度	Altitude	
端末通信状況	NetworkState	
Band番号	Band	
PCI	PCI	
端末関連（4G専用項目）		
基地局ID	CID	
DL周波数	Bandwidth	
RSRP	RSRP	
RSRQ	RSRQ	
SINR	SINR	
端末関連（5G専用項目）		
UL周波数	UpBandwidth	
DL周波数	DownBandwidth	
UL CA	UL CA	1.042 から対応
UL MCS	UL MCS	1.042 から対応
UL MIMO数	UL MIMO	1.042 から対応
UL Modulation	UL Modulation	1.042 から対応
DL CA	DL CA	1.042 から対応
DL MCS	DL MCS	1.042 から対応
DL MIMO数	DL MIMO	1.042 から対応
DL Modulation	DL Modulation	1.042 から対応
RSRP	CSI RSRP	
RSRQ	CSI RSRQ	

項目名	CSV項目名
SINR	CSI SINR
RSRP	SS RSRP
RSRQ	SS RSRQ
SINR	SS SINR

※グレー部分についてはログ出力されません。

5.1.3 Wi-Fi 情報表示

端末ホーム画面の「設定」▶「詳細設定」▶「ネットワークとインターネット」▶「Wi-Fi クライアント接続設定の表示」が ON の場合に、Wi-Fi の接続情報を表示します。

以下の情報が表示されます。

通信	情報表示	値 (例)	単位
Wi-Fi	SSID	AP01	
	BSSID	11:22:33:44:55:66	
	RSSI	-50	dBm
	Security	WPA2-Personal	
	Wi-Fi Types	5	
	Band	5200	

5.1.4 Wi-Fi 情報ログ出力

Wi-Fi 情報を CSV 形式で出力します。

ログ記録期間の設定、開始/停止の操作、ログの取り出し方法は 5.1.2 と同様です。

ログのファイル名は wifi_『YYYYMMDDhhmmssfff』.csv

ログへの出力は 1 秒周期で行います。 1.050 から対応

(1.050 より前のバージョンでは 3 秒周期で記録されます)



ログに出力される内容は、次の通りです。

項目名	CSV項目名
日付	Date

時間	Time
SSID	SSID
BSSID	BSSID
RSSI	RSSI
Security	Security
Wi-Fi Types	Wi-Fi Types
Band	Band

5.2 UVC/UAC(エンコード/デコード)アプリ

本端末には、USB カメラの映像の送受信にご利用頂ける 2 つのアプリケーションをプリインストールしています。

-  USB カメラアプリ : USB カメラと接続して、映像と音声を送信する
-  USB カメラプレイヤーアプリ : 映像と音声を受信して、再生する

各アプリケーションの使用方法は次の通りです。

5.2.1 USB カメラ

本端末と USB カメラを接続し、本アプリを設定することで、カメラからの映像をエンコードして、任意のサーバーにアップロードすることができます。

■設定

1. プレビュー画面で、左上の設定アイコン（歯車）を選択
2. ご利用環境に合わせて各項目を設定

項目	説明
解像度	USB カメラの Resolution 設定が可能です。USB カメラを接続すると、接続中のカメラに対応した解像度が設定できます。
伝送フォーマット	USB カメラが対応しているフォーマットを選択できます。 MJPEG NV12 ※ ※ 1.042 から対応 YUYV

項目	説明
	I420 ※ M420 ※
ライブブロードキャストフォーマット	動画圧縮規格の「H.264」と「H.265」を選択できます。
ライブブロードキャストプロトコル	「RTSP」と「SRT」を選択できます。
フレームレート	フレームレートを設定できます。 ※接続した USB カメラでサポートしているフレームレートをすべて設定できます。 1.042 から対応
固定ビットレート 1.042 から対応	ライブ配信時のビットレートを設定できます。OFF 時は可変ビットレートになります。
ライブポート番号	ポート番号を選択できます。RTSP でライブ配信する際に設定が必要です。 ※5 桁対応しました。
SRT パラメータ設定 1.050 から対応	「ライブブロードキャストプロトコル」で SRT を設定した場合は、以下の項目が設定可能になります。 1.042 から対応 <ul style="list-style-type: none"> ・遅延時間 レイテンシを設定できます。設定範囲は 0ms-20000ms になります。未設定時はデフォルトの 120ms になります。 <ul style="list-style-type: none"> ・パスフレーズ パスフレーズを設定できます。暗号化方式は AES-128 になります。
バックグラウンド送信 1.050 から対応	以下の項目を選択できます 「送信画面から離れた場合に終了する」 ⇒バックグラウンド送信が無効化されており、アプリ終了などで送信画面から離れた場合に、送信が停止されます。 「画面をオフにした場合に終了する」 ⇒バックグラウンド送信が有効になります。送信画面から離れても送信が継続されます。電源キー押下などで画面をオフした場合は送信が停止されます。 「自動で終了しない」 ⇒バックグラウンド送信が有効になります。送信画面から離れた場合や電源キー押下して画面オフ時も送信が継続されます。

項目	説明
	<ul style="list-style-type: none"> ➤ 本機能は誤操作時の送信停止を防止する機能です。 ➤ バックグラウンド動作中は、メモリや CPU の負荷によって停止する場合があります。継続してアプリケーションを利用される場合は、フォアグラウンドに戻してください。

ライブブロードキャストプロトコルで「SRT」を設定した場合、プレビュー画面で「SETTING SRT MODE」を選択して、SRT の設定が可能です。SRT の設定では「CALLER モード※1」と「LISTENER モード※2」の設定が可能です。

※1 CALLER モード：クライアントとして動作するモードです。

※2 LISTENER モード：サーバーとして動作するモードです。

■映像配信方法

配信を開始するとき

1. プレビュー画面で、ライブボタンを選択（映像配信が開始されます）

※RTSP で配信する際は、RTSP のアドレスとポートが画面上部に表示されます。

配信を終了するとき

1. プレビュー画面で、停止ボタンを選択（映像配信が停止されます）

5.2.2 USB カメラプレイヤー

設定した RTSP/SRT サーバーから映像を受信し、ディスプレイと本端末を USB ケーブル（HDMI 変換アダプタ／DisplayPort 変換アダプタ）で接続すると、受信した映像をディスプレイに出力できます。

※長時間利用する場合、接続機器によっては映像の転送中に停止する可能性があります。停止した場合、接続機器を再接続後、再度アプリを起動して利用してください。

※すべての USB ケーブル対応機器との接続を保証するものではありません。

映像が転送されない場合は、ディスプレイとの接続機器を変更して再度ご確認ください。

■使用方法

1. ご利用環境に合わせて「SRT PLAYER」／「RTSP PLAYER」を選択
2. 選択した「SRT」／「RTSP」に合わせて設定

項目	説明
SRT PLAYER	SRT のアドレスとポートを入力してください。 入力例) srt:// 52.196.120.180:7501
RTSP PLAYER	RTSP の URL を入力して「PLAY」を選択してください。 入力例) rtsp://192.168.43.1:4201 rtsp://[ID]:[Password]@[IP アドレス]/live

3. PLAY を選択

以上の操作で再生が開始されます。

4. 再生を終了する場合は、「戻る」ボタン（三角マーク）を選択

■設定

1. SRT PLAYER・RTSP PLAYER 画面で、右上の設定アイコン（歯車）を選択

2. ご利用環境に合わせて各項目を設定

項目	説明
モード選択 ※SRT のみ	「Caller Mode」か「Listener Mode」を選択できます。
遅延時間 ※SRT のみ 1.050 から対応	レイテンシを設定できます。設定範囲は 0ms-20000ms になります。未設定時はデフォルトの 120ms になります。
パズフレーズ ※SRT のみ 1.050 から対応	パズフレーズを設定できます。暗号化方式は AES-128 になります。
バックグラウンド再生 1.050 から対応	バックグラウンド再生有効時は、ホームキーなどを押下してホーム画面に戻った時も送信映像の外部ディスプレイ出力が継続されます。 <ul style="list-style-type: none"> ・本機能は端末と外部ディスプレイを接続している場合のみ有効です。 ・電源キー押下などにより本端末のディスプレイが消灯した場

合は、外部出力も停止されます。

- 本機能は誤操作時の再生停止を防止する機能です。
- バックグラウンド動作中は、メモリや CPU の負荷によって停止する場合があります。継続してアプリケーションを利用される場合は、フォアグラウンドに戻してください。

設定メニュー一覧

次の設定メニューより、各種設定を行うことができます。

※「ルーター設定 (WebUI)」の欄に「●」の印が付いている項目は、WebUI を利用して設定することもできます。

メニュー項目／設定項目	設定範囲	初期値	ルーター設定 (WebUI)
設定	—	—	
かんたん設定	—	—	
QR コード表示	—	—	
手動設定	—	—	
Wi-Fi 接続情報	—	—	●
接続している端末名 (リスト表示)	—	—	●
ルーター設定	—	—	●
Wi-Fi	—	—	●
Wi-Fi	ON、OFF	OFF	●
アクセスポイント名	32 文字までの半角英数字／ドット (.) / ハイフン (-)	K5G-C-100A	●
セキュリティ	WPA3-Personal、WPA2-Personal、なし	WPA2-Personal	●
アクセスポイントのパスワード	8～63 文字までの半角英数字／記号	ランダム	●
アクセスポイントを自動的にオフにする	ON、OFF	OFF	●
利用周波数設定	2.4GHz 帯、5GHz 帯	2.4GHz 帯	●

メニュー項目／設定項目		設定範囲	初期値	ルーター設定 (WebUI)
		Both(2.4+5GHz)		
	高度な Wi-Fi テザリング設定	—	—	●
	接続デバイスの管理	—	—	●
	屋内/屋外モード	屋内と屋外で利用、屋内のみで利用	屋内と屋外で利用	●
	2.4GHz チャンネル設定	自動、1~11	自動	●
	5GHz チャンネル設定	W52、W53、W56	W56	●
	DHCP 手動設定	ON、OFF	OFF	●
	ホスト IP アドレス	0.0.0.0 ~ 255.255.255.255	192.168.1.1	●
	プレフィックス長	16~30	24	●
	開始 IP アドレス	0.0.0.0 ~ 255.255.255.255	192.168.1.2	●
	終了 IP アドレス	0.0.0.0 ~ 255.255.255.255	192.168.1.254	●
	DNS 設定	ダイナミック、スタティック	ダイナミック	●
	DNS1	0.0.0.0 ~ 255.255.255.255		●
	DNS2	0.0.0.0 ~ 255.255.255.255		●
	ステルス設定	ON、OFF	OFF	●
	自動オフ時間の設定	なし、5分、10	10分	●

メニュー項目／設定項目		設定範囲	初期値	ルーター設定 (WebUI)
		分、20分、30分、60分		
	USB テザリング	ON、OFF	OFF	
	デフォルトの USB 設定	ON、OFF	OFF	●
	Bluetooth テザリング	ON、OFF	OFF	
	Ethernet	—	—	●
	DHCP	—	—	●
	DHCP サーバー	無効、有効	有効	●
	LAN 側 IP アドレス	0.0.0.0 ~ 255.255.255.255	192.168.128.1	●
	LAN 側サブネットマスク	0.0.0.0 ~ 255.255.255.255	255.255.192.168.128.2~	●
	割当 IP アドレス	0.0.0.0 ~ 255.255.255.255	192.168.128.254	●
	プライマリ DNS	0.0.0.0 ~ 255.255.255.255	192.168.128.1	●
	セカンダリ DNS	—、0.0.0.0 ~ 255.255.255.255	—	●
	MAC IP Binding 登録	—	—	●
	MAC アドレス	00:00:00:00:00:00 ~ FF:FF:FF:FF:FF:FE	—	●
	IP アドレス	0.0.0.0 ~ 255.255.255.255	—	●

メニュー項目／設定項目		設定範囲	初期値	ルーター設定 (WebUI)
		55		
	自動再起動	—	—	●
	自動再起動設定	ON、OFF	OFF	●
	データ通信中は再起動しない	ON、OFF	OFF	●
	時刻指定	00:00~23:59	00:00	●
	日付間隔	1~30	1	●
	曜日指定	月曜~日曜	—	●
	その他の設定	—	—	●
	ポートフォワーディング	—	—	●
	プロトコル	TCP、UDP、ALL	ALL	●
	外部ポート番号	0~65535	—	●
	LAN 側 IP アドレス	0.0.0.0 ~ 255.255.255.2 55	—	●
	内部ポート番号	0~65535	—	●
	IP パケットフィルタリング	—	—	●
	動作	DROP、 REJECT、 ACCEPT	DROP	●
	方向	Internet → LAN、LAN → Internet	Internet → LAN	●
	送信元 IP アドレス	0.0.0.0 ~ 255.255.255.2 55	—	●
	宛先 IP アドレス	0.0.0.0 ~ 255.255.255.2 55	—	●
	プロトコル	TCP、UDP、ALL	ALL	●
	送信元ポート番号	0~65535	—	●
	宛先ポート番号	0~65535	—	●

メニュー項目／設定項目		設定範囲	初期値	ルーター設定 (WebUI)
	IPv6パケットフィルタリング	—	—	●
	動作	DROP、 REJECT、 ACCEPT	DROP	●
	方向	Internet → LAN、 LAN → Internet	Internet → LAN	●
	送信元 IP アドレス	0:0:0:0:0:0:0:0 ～ FFFF:FFFF:FFF F:FFFF:FFFF:F FFF:FFFF:FFFF	—	●
	宛先 IP アドレス	0:0:0:0:0:0:0:0 ～ FFFF:FFFF:FFF F:FFFF:FFFF:F FFF:FFFF:FFFF	—	●
	プロトコル	TCP、UDP、ALL	ALL	●
	送信元ポート番号	0～65535	—	●
	宛先ポート番号	0～65535	—	●
	ステートフルファイアウォール 1.050 から対応	ON、OFF	OFF	●
	WAN ポート PING ブロック	ON、OFF	OFF	●
	DMZ	ON、OFF	OFF	●
	DMZ IP アドレス	0.0.0.0 ～ 255.255.255.2 55	192.168. 1.1	●
	モバイルネットワーク	—	—	
	モバイルデータ	ON、OFF	ON	●
	モバイルデータ使用量	—	—	● (表示のみ)
	モバイルデータ通信量の設定	—	—	● (表示のみ)

メニュー項目／設定項目		設定範囲	初期値	ルーター設定 (WebUI)
	アプリのデータ使用量の サイクル	—	—	●
	データ通信量設定	—	7GB	●
	モバイルデータ優先設定	1.042 から対応	—	●
	SIM 1	ON、OFF	OFF	●
	SIM 2	ON、OFF	OFF	●
	優先ネットワークの種類	LTE、NR のみ、 NR/LTE	NR/LTE	●
	ネットワークを自動的に選択	ON、OFF	ON	●
	ネットワークを選択	—	—	●
	アクセスポイント名 (APN)	—	—	●
	データ通信量の設定	—	—	●
	SIM1	—	—	●
	SIM2	—	—	●
	Bluetooth	—	—	
	Bluetooth	ON、OFF	ON	
	デバイス名	—	K5G-C- 100A	
	新しいデバイスとペア設定する	—	—	
	ディスプレイ			
	明るさのレベル	—	—	
	夜間モード	—	—	
	壁紙	—	—	
	画面消灯	15 秒、30 秒、1 分、2 分、5 分、 10 分、30 分	1 分	
	スクリーンセーバー	—	—	
	画面ロック	なし、スワイプ、 PIN	スワイプ	●
	SIM カード	—	—	
	SIM カード情報	—	—	

メニュー項目／設定項目		設定範囲	初期値	ルーター設定 (WebUI)
	SIM の名称	—	—	
	電話番号	—	—	
	優先 SIM	—	—	
	モバイルデータ	—	—	
	モバイルデータ通信 SIM の自動切り	ON、OFF	OFF	
電池		—	—	
	バッテリーセーバー	ON、OFF	OFF	
	バッテリーマネージャ	ON、OFF	ON	
デバイス情報		—	—	
	デバイス名	—	K5G-C-100A	● (表示のみ)
	SSID 情報	—	—	
	電話番号(SIM スロット 1)	—	—	● (表示のみ)
	電話番号(SIM スロット 2)	—	—	● (表示のみ)
	法的情報	—	—	
	認証情報	—	—	
	SIM ステータス(SIM スロット 1)	—	—	● (表示のみ)
	SIM ステータス(SIM スロット 2)	—	—	● (表示のみ)
	モデルとハードウェア	—	—	● (表示のみ)
	IMEI(SIM スロット 1)	—	—	● (表示のみ)
	IMEI(SIM スロット 2)	—	—	● (表示のみ)
	バージョン	—	—	● (表示のみ)
	IP アドレス	—	—	● (表示のみ)
	Wi-Fi MAC アドレス	—	—	
	Bluetooth アドレス	—	—	
	稼働時間	—	—	● (表示のみ)
	ビルド番号	—	—	● (表示のみ)
詳細設定		—	—	
	ネットワークとインターネット	—	—	
	Wi-Fi クライアントモ接続設	ON、OFF	OFF	

メニュー項目／設定項目		設定範囲	初期値	ルーター設定 (WebUI)
定の表示				
Wi-Fi 接続設定		—	—	
	Wi-Fi の使用	ON、OFF	OFF	
	(AP 選択)	—	—	
	ネットワークを追加	—	—	
Wi-Fi 設定		—	—	
	証明書のインストール	—	—	
	Wi-Fi Direct	—	—	
	WPS プッシュボタン	—	—	
	WPS PIN 入力	—	—	
	MAC アドレス	—	—	
	IP アドレス	—	—	
	保存済みネットワーク	—	—	
	Wi-Fi データ使用量	—	—	
モバイルネットワーク				
データセーバー		—	—	
SIM カード				
モバイルプラン		—	—	
機内モード		ON、OFF	OFF	
VPN		PPTP、L2TP、 IPsec、L2TPv3* (*IPsec なし/トン ネル認証なしの み)		● (サーバーア ドレスには IP アドレスのみ指 定が可能)
プライベート DNS		OFF、自動、プラ イベート DNS プロバイダのホ スト名	自動	
接続済みのデバイス		—	—	
	新しいデバイスとペア設定す る	—	—	
	接続の設定	—	—	

メニュー項目／設定項目	設定範囲	初期値	ルーター設定 (WebUI)
アプリと通知	—	—	
アプリ情報	—	—	
通知	—	—	
デフォルトのアプリ	—	—	
権限マネージャ	—	—	
特別なアプリアクセス	—	—	
電池	—	—	
ディスプレイ	—	—	
音 (BT,headset 時)	—	—	
メディアの音量	—	—	
通知の音量	—	—	
サイレントモード	—	—	
デフォルトの通知音	なし、プリセッ ト音源一覧、通 知の追加	Pixie Dust	
画面ロック音	ON、OFF	ON	
充電時の音	ON、OFF	ON	
タッチ操作音	ON、OFF	ON	
ストレージ	—	—	
プライバシー	—	—	
権限マネージャ	—	—	
パスワードの表示	ON、OFF	ON	
ロック画面	—	—	
位置情報	—	—	
位置情報の使用	ON、OFF	ON	
最近の位置情報リクエスト	—	—	
アプリの権限	—	—	
セキュリティ	—	—	
セキュリティステータス	—	—	
画面ロック	なし、スワイプ、 PIN	スワイプ	

メニュー項目／設定項目	設定範囲	初期値	ルーター設定 (WebUI)
デバイス管理アプリ	—	—	
SIM カードロック	—	—	
暗号化と認証情報	—	—	
画面の固定	ON、OFF	OFF	
アカウント	—	—	
ユーザー補助	—	—	
色補正	ON、OFF	OFF	
色反転	ON、OFF	OFF	
大きなマウスポインタ	ON、OFF	OFF	
アニメーションの削除	ON、OFF	OFF	
停止時間	—	—	
長押しする時間	短め、中、長め	短め	
操作までの時間(ユーザー補助タイムアウト)	デフォルト、10秒、30秒、1分、2分	デフォルト	
モノラル音声	ON、OFF	OFF	
オーディオバランス	—	—	
字幕の設定	ON、OFF	OFF	
高コントラストテキスト	ON、OFF	OFF	
システム	—	—	
言語と入力	—	—	
日付と時刻	—	—	
リセットオプション	—	—	●
ソフトウェア更新	—	—	●

改版履歴

版数	日付	改版内容
1.0	2021/5/8	初版作成
1.1	2021/5/14	2.7 Dual SIM ができること SIM の同時利用について説明を追加 2.8 電源 ON/OFF について 説明を追加 3.2 モバイルネットワーク設定 ミリ波のマークの説明を追加 3.5 ルーター設定 説明の順番を見直し 4.1.5 USB テザリング ケーブルを抜いた際の説明を追加 5.1 5G 電波情報アプリ 現在サポートしていない項目をグレー塗りに変更
1.11	2021/6/24	1.1 版の修正履歴（赤字、取り消し線）を削除
1.20	2021/7/26	3.5.1.2 Web UI WebUI 使用時に Google Chrome の使用を推奨する旨の記載を追加
	2021/7/14	3.5.6.2 IP パケットフィルタリング 制限事項を追加、リストに関する説明を追加 3.5.6.3 IPv6 パケットフィルタリング 制限事項を追加、リストに関する説明を追加
	2021/7/14	設定メニュー一覧 [モバイルネットワーク]の一部項目と[データ通信量の設定]を WebUI を利用して設定可能とする [モバイルネットワーク]の一部項目と[デバイス情報]の一部項目を WebUI を利用して表示のみ可能とする
	2021/10/8	3.5.3 USB テザリング デフォルトの USB 設定を追加 4.1.5 USB テザリング デフォルトの USB 設定を追加 設定メニュー一覧 デフォルトの USB 設定を追加
	2021/10/8	3.5.6 自動再起動 を追加 設定メニュー一覧 自動再起動設定を追加
	2021/10/13	3.5.2 Wi-Fi 設定 OFF の時に設定変更ができる説明を追加 設定メニュー一覧 リセットオプションに WebUI 設定の可能を追加 下記を削除 ・「Wi-Fi を自動的に ON する」 ・「ネットワーク評価プロバイダ」 ・「オープンネットワークの通知」
	2021/10/18	5.1.1 電波情報表示 5.1.2 電波情報ログ出力 表示される情報とログ出力される情報の拡張に伴う更新
	2021/11/11	5.1.3 Wi-Fi 情報表示 表の空欄を記入
	2021/11/11	5.1.1 電波情報表示 5.1.2 電波情報ログ出力 NSA の場合の制限事項を追加
1.3	2021/12/3	5.1.1 電波情報表示 5G 情報の UpBandwidth と DownBandwidth について、単位を kHz から MHz に修正

版数	日付	改版内容
	2021/12/13	5.1.1 電波情報表示 5G 情報の制限事項から SS SINR を削除
	2021/12/13	5.1.2 電波情報ログ出力 5G 情報の制限事項の記載を更新
1.40	2022/1/31	5.1.1 電波情報表示 5.1.2 電波情報ログ出力 5G ステータスアイコンが表示されている場合にも、5G の情報が表示されないことがある、という制限を削除 5G 情報に UL CA/MCS/MIMO/Modulation と DL CA/MCS/MIMO/Modulation を追加
	2022/1/31	3.2.4 モバイルデータ優先設定 を追加 設定メニュー一覧 モバイルデータ優先設定を追加
	2022/02/04	5.2.1 USB カメラ 設定項目に「固定ビットレート」を追加、伝送フォーマット、フレームレート、ポート番号の説明を修正
	2022/02/07	はじめに 1.042 以降のバージョンの技適番号に関する注意事項を記載
1.50	2022/04/06	5.1.2 電波情報ログ出力 5.1.4 Wi-Fi 情報ログ出力 ログへ情報が記録される周期を、3 秒から 1 秒へ変更
	2022/04/06	5.2.1 USB カメラ 5.2.2 USB カメラプレイヤー 設定項目に バックグラウンド再生、遅延時間、パスフレーズを追加
	2022/04/06	3.5.7.4 ステートフルファイアウォール を追加 設定メニュー一覧 ステートフルファイアウォールを追加
	2022/04/06	3.5.7.2 IP パケットフィルタリング 3.5.7.3 IPv6 パケットフィルタリング 3.5.9 その他特記事項 制限事項にステートフルファイアウォールとパケットフィルタリングの同時利用不可を追加
1.60	2022/05/10	5.2.1 USB カメラ 5.2.2 USB カメラプレイヤー バックグラウンド動作に関する説明を追加
1.70	2022/07/11	4.1.6 Ethernet 接続 制限事項を追加
1.80	2022/8/10	設定メニュー一覧 [VPN]を WebUI を利用して設定可能である旨の記載を追加 WebUI から[VPN]を設定する場合サーバーアドレスには IP アドレスのみが指定可能である旨を記載。
	2022/9/9	5.1.2 電波情報ログ出力 SignalStrength に関する制限事項を追加
1.90	2022/10/27	3.5.9 その他特記事項 ルーター機能使用時の WAN 側接続についての記載を追加

版数	日付	改版内容
	2023/03/22	5.2.2 USB カメラプレイヤー RTSP の URL 入力方法と例を追記
	2023/03/27	3.6 VPN 設定 を追加 3.7 ソフトウェア更新設定 3.6 から 3.7 に移動 設定メニュー一覧 [VPN]の設定範囲に L2TPv3 を追加
2.0	2023/05/09	5.1.1 電波情報表示 5.1.2 電波情報ログ出力 5G の SignalStrength の更新に必要な変化量の記載を削除
	2023/06/23 2023/07/11	5.1.1 電波情報表示 5.1.2 電波情報ログ出力 位置情報に関する動作の説明を追加 端末通信状況(NetworkState)に関する説明を追加
2.1	2024/2/1	5.1.1 電場情報表示 5G NSA では Band 情報は非サポートですが、情報がされてしまうケースがあるため、そのような場合には表示されている Band 情報が正確ではない旨の注意書きを追加。
2.2	2024/5/13	3.5.5 Ethernet 設定 LAN 側 IP アドレスの設定不可アドレスについての記載を追加